

第 3 回あま市本庁舎基本設計委員会会議録要旨

■日 時 平成 29 年 3 月 30 日（木）午後 2 時から午後 3 時 20 分まで

■場 所 あま市役所本庁舎 2 階 第 3・4 会議室

■出席者等

（委 員） 15 名

（事務局） 10 名

（傍聴者） 4 名

（その他） 3 名

議 事

■議題

(1) 第 2 回基本設計委員会のおさらい

(2) 中間とりまとめに関する意見募集の結果について

【説明内容】

事務局より資料 1、資料 2 の内容について説明

【主な意見等】

委 員： 敷地の盛土については、防災拠点の機能として備える諸条件を検討整理する必要がある。

事務局： 今後の検討課題として整理していく。

委 員： 敷地北側からの出入の場合、長いスロープになるが、年に数回降る雪への対策は、どう考えているか。また、北側玄関となれば、北風（伊吹おろし）対策を検討していただきたい。

事務局： 設計面、ソフト面両方から検討を進める。また、円滑化経路の勾配等についても、基準に基づき今後整理していく。

(3) 設計主旨・コンセプト

(4) 設計条件の検討・整理すべき事項

(5) 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

【説明内容】

事務局より資料 1 の内容について説明

【主な意見等】

委 員： 設計主旨・コンセプト(4)にある自然エネルギー利用や、敷地周辺の環境調和のとれた庁舎について、具体的な提案はあるか。

事務局： 太陽光利用、自然換気、自然採光、自然通風等を利用し環境負荷の低減への配慮や、東側沖之島既存集落と一体となった地区計画を策定

する中で、新庁舎敷地東側に広場を設ける等周辺環境との調和を図っていく。

委 員： 災害時の広場の必要性について、具体的に検討を行うこと。

委 員： 敷地利用について、風水害と地震時の対応が異なるように、様々な災害に対して実施する行動範囲や優先順位付けをどのように行っていくか、他市との連携を含め具体的に進めてほしい。

委 員： 災害時のボランティア活動センター機能を新庁舎敷地内で確保する場合、ボランティアの人が利用できる駐車場等は確保できるのか。

事務局： 今後の検討課題として整理していく。

委 員： 時間軸を意識した災害等の対応について、災害の種類や発生する時間帯によって対応が異なることが予想される。

災害時の様々な機能を検討していく時に必要となる人員、物資、スペースの確保等具体的なイメージを広域的な視点を持ち、マニュアルを作成する必要がある。

委 員： 災害時に必要となる広場スペースと、平常時に利用しやすい遊具等の配置が両立できるように検討していただきたい。

委 員： 駐車場については、議会開会中や確定申告時期等来庁者が集中する場合でも対応可能な台数を確保しているのか。出来ないのであれば、隣接敷地に駐車場を設けることを検討しているのか。

事務局： 新庁舎開庁時の職員数や来庁者数等を整理し、駐車計画及び配置計画の検討を進めていく。敷地外の駐車場確保は、現時点で考えていない。

委 員： 災害時の対応検討を進める上で、熊本地震等これまでに災害対応経験のある自治体に、被災後の駐車場利用状況等についてヒアリングすると参考になるのではないか。

委 員： 災害時に広場等の屋外スペースだけでなく庁舎の一部をボランティアセンター等の活動スペースとして利用する想定が出来ないか検討していただきたい。

(6) 平成 29 年度スケジュール

【説明内容】

事務局より資料 1 の内容について説明

【主な意見等】

委 員： 全体スケジュールでは、4 月から平面計画の検討を進めていく工程になっているが、新庁舎でより質の高い行政サービスを市民に対して提供するための体制をどのように整備するか、市職員一丸となってその構築に取り組んでいただきたい。

事務局： 市としても早急に取りまとめていく。

委 員： 関係者間協議とは具体的に何か。

事務局： 例えば事業認定等の手続きに伴う諸官庁協議のこと。

委 員： 事業費については、新庁舎建設時の工事高騰リスクを考慮する必要があると思うが、どう考えているか。

事務局： 今後検討を進め、基本設計委員会で概算事業費の提示を行う予定である。